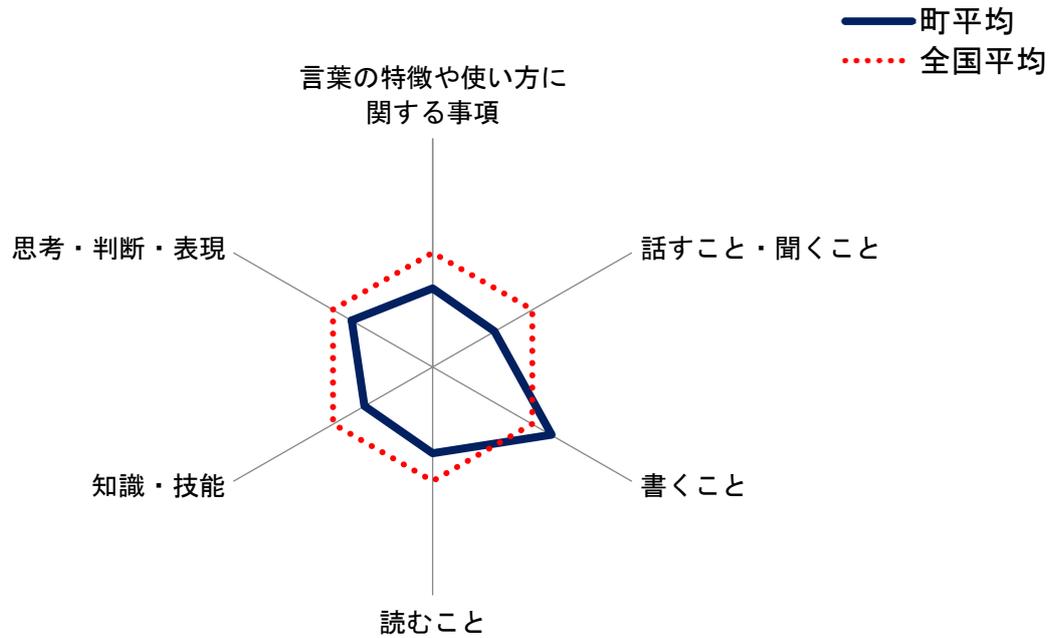
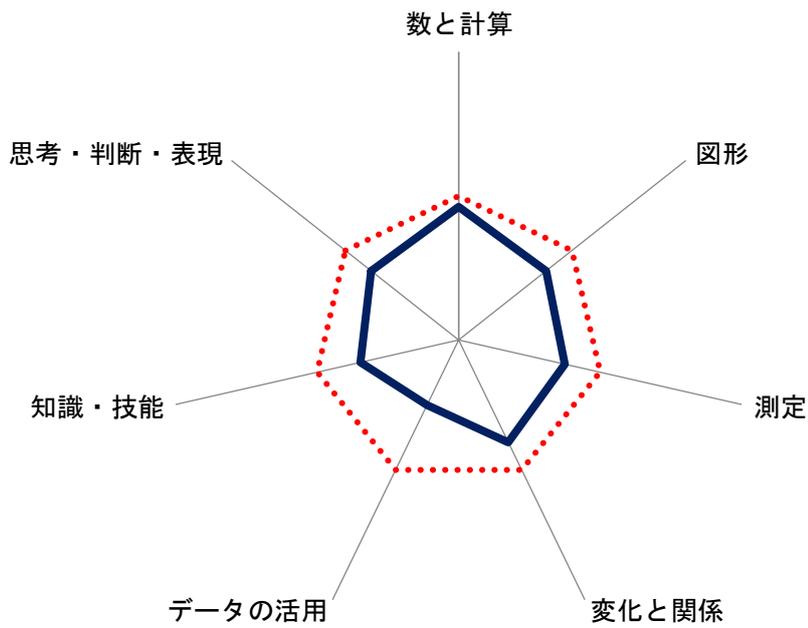


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

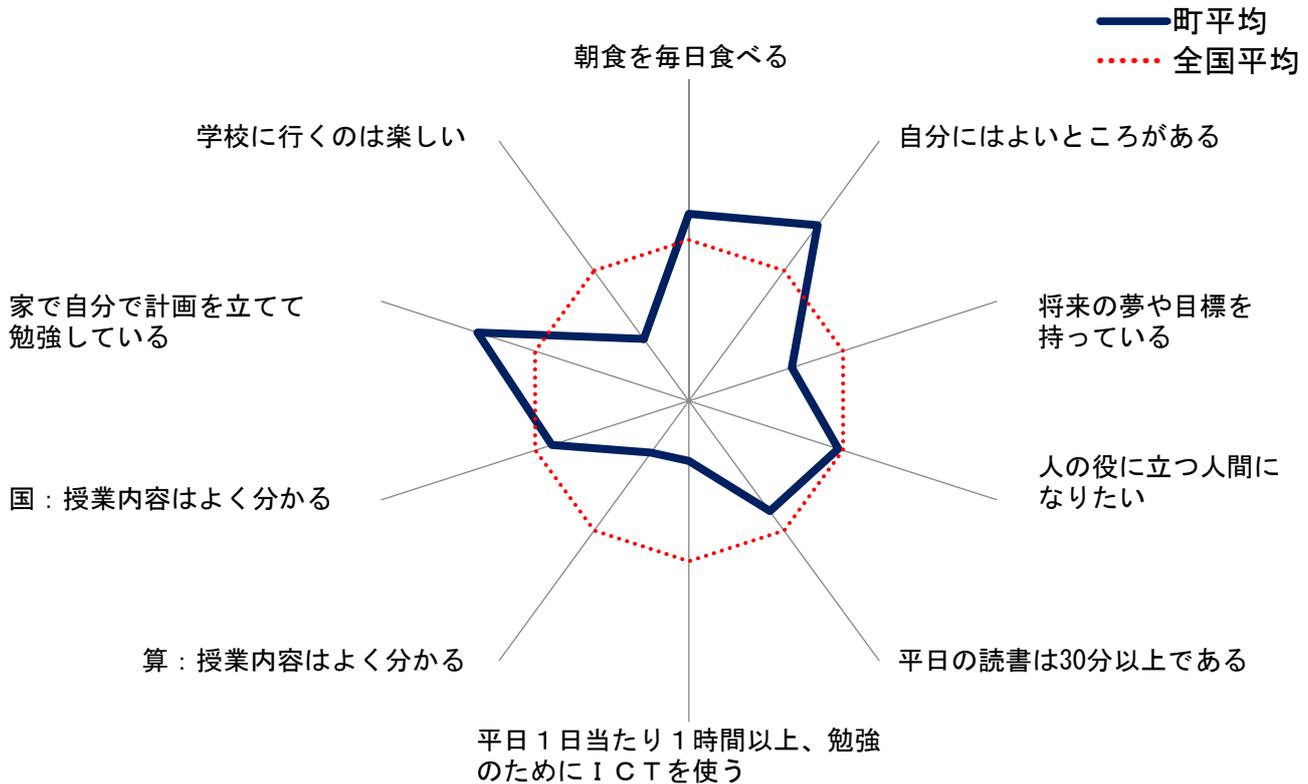
【国語】



【算数】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、算数のほとんどの項目が全国平均を下回っている。特に国語の「話すこと・聞くこと」、算数の「データの活用」などの項目は全国平均を大きく下回っており、これらの学習内容の定着に課題が見られる。一方、国語の「書くこと」の項目は全国平均を上回っている。今後、設問ごとに詳細な分析を行い、課題を洗い出すことで、児童一人一人の実態に応じたきめ細かな指導に向けた授業改善に取り組むことが望まれる。

児童質問紙調査では、「家で自分で計画を立てて勉強している」「自分にはよいところがある」の項目が全国平均を大きく上回っており、学校、家庭や地域が一体となり、児童の主体性及び自己肯定感を高める指導に取り組んでいる様子が見える。「学校に行くのが楽しい」「平日1日当たり1時間以上、勉強のためにICTを使う」などの項目は、全国平均を大きく下回っている。今後も、ICTを日常的に活用した学習を進めるための指導の工夫や授業改善に努めるとともに、学校教育の質の保証と向上に向けて学校と家庭、地域が連携して取り組むことが望まれる。